

今年は卯年ですね。ピョンピョン飛躍の一年で、何事も卯まく（上手く）いきますように心から願っております。

行動制限もなくなり、コロナもいよいよ身近になっております。実は当ホームでも、昨年末に利用者様1名がコロナ感染し、それに対応した職員（私）が感染してしまいました。症状は、最初は風邪症状、のどがいがらっぽく始まり、発熱、鼻水、咳、たん、下痢と風邪のフル装備でした。私の場合は、感染の心当たりがあったので、のどがいがらっぽくなった段階で、隔離の準備をはじめることができました。抗原検査で陽性が確認できるまで、1日半を要しました。その間に、既に発熱もしていましたし、かなり具合も悪かったです。陽性となり、自ら登録センターに申請して、自主療養を行っておりました。発症して2日でお腹の様子がおかしくなり、完全絶食をして経口補水液だけで過ごしておりましたが、それも限界が来て受診したいと思い、まずは、フォローアップセンターとやらに電話しました。ところが、病院に受診したいときは自分で病院に電話してくれとのことでした。正直何のためのフォローアップセンターなの？とってしまいました。

気を取り直して、大きな病院に電話してみました。T病院は「今日の予約は既にいっぱいです。明日はまた明日電話をかけてください」とのこと。夜間救急は待ってもらえば診てもらえるようでしたが、何時間待つかわかりません。次に、A病院に電話しました。コロナ専用ダイヤルがあって、そこに何回も電話しましたが、電話中もしくは、つながりません。

幸いにも翌日、A病院の電話がようやくつながり、コロナ専用のCTで腹部を撮ってもらい命にかかわる病気でないことを確認してもらった上で、脱水症状回復のための点滴を受けて帰宅しました。点滴1本で血液がどくどく体中を流れる感覚は今でも忘れられません。その後少しずつ回復するのですが、咳・たんは1か月続きました。症状は人それぞれですが、私の場合は、病状が急変したときに、なかなか受診できなかつたことが恐怖でした。それでも他に感染が広がることなく、不幸中の幸いでした。

これは利用者様がこの数年かけて隔離の練習をしたり、職員も感染対策をしていたおかげです。

コロナに実際に感染したことで、まだ対策が甘かったところは改善していかなければなりません。

私が思い当たる感染経路は、接触感染でなく、密閉空間でのエアロゾル感染です。換気を根気よくしていきましょう。

### 🐰ホームのアイドル ラテちゃん🐰

グループホームたかせでは、開所して以来、ペットは禁止しておりましたが、ご縁があって、そして何よりもみんなの理解もあって、うさぎを迎え入れることになりました。

手のひらに乗るくらいの子ちゃんうさぎでしたが、すくすく成長してずいぶん可愛いうさぎちゃんになりました。うさぎ年ということもあり、縁起良く、幸運をもたらしてくれることと願っています。



新たに利用者様が増えて6名のクリスマスとなりました。

なにせ、一人でもコロナ感染者がいると、作業所も出入り禁止となり、隔離生活を強いられる羽目になり、12月はみんなで巣ごもり生活となりました。クリスマスにはいつも通りの生活に戻って良かったです。